

第5学年1組 外国語科学習指導案

令和4年11月10日(木) 第5校時
深谷市立深谷小学校 5年1組教室
授業者(HRT) 水野 浩廉
ALT Anastacia

1 単元名 Junior Sunshine5 Lesson6 “My hero” あこがれの人をしょうかいしよう。

2 単元について

本単元は、第三者を表す代名詞である he/she を用いて、自分があこがれている人(ヒーロー)について発表する単元である。紹介するヒーローは、スポーツ選手、歴史上の人物や郷土の偉人(渋沢栄一や畠山重忠等)、家族、友達など様々な例が掲載されており、多様な視点でそれぞれのヒーローを考えられるよう工夫されている。その中から自分のあこがれの人を選び、その理由を添えながら他者に伝えるという活動は、児童の「思考力、判断力、表現力」を高めることができると考える。

そこで、児童の「思考力、判断力、表現力」を育成する言語活動のさらなる充実を図るため、本単元におけるゴールを「あこがれの人を実際に学校に1人呼んで、働くことについて語ってもらうため、自分のあこがれている人をアナ先生(ALT)に紹介しよう」と設定した。(本校の5年生は、総合的な学習の時間で、『働くとは?』について学習しており、他教科との横断的な学びにつなげる意味合いもある。)

このゴールを達成するため、単元のはじめに【目的・場面・状況】をしっかりと提示する。それによって、単元を通じた言語活動に意味をもたせ、児童の本音(本当のあこがれの人を伝えるということ)を引き出せるようにする。

聞くことの指導では、押さえない表現の音を十分に慣れ親しませてからカード等を提示することで、音と文字が一致するようにして理解の助けとする。押さえない表現等を繰り返し聞かせる際には、聞く視点を変えながら聞かせることで、主体的に興味をもって聞く工夫をする。また、he/she や be good at の表現に慣れ親しませるために、デジタル教科書等の ICT機器で、良質な音を繰り返し丁寧に聞かせていく。

話すこと[発表]の指導では、自分にとってのヒーローが伝えられるように、まず教師が発表の見本を見せ、ヒーローの名前だけでなく、自分の思いや考えが伝えられるようにする。発表をする時は、表情や声のトーンだけではなく、自分にとってのヒーローがどんな人なのか、発表の中身を意識させ、他者に配慮した発表ができるよう留意させる。また、話すこと[やり取り]を続けるための手法を少しずつ身に付けていけるよう、スモールトーク等を2時間に1回の割合で帯活動として取り入れる。

3 児童の実態について

本学級の児童は、外国語や外国の文化に興味をもち、週に2度ある授業をととても楽しみにしている。何事も前向きに目の前の課題に対して積極的に取り組むことができる。また、誰に対しても優しく穏やかに接する児童が多く、和やかな集団である。児童の中には、英会話教室などに通い、日頃から外国語(英語)にふれ、英語を聞くことや話すことなどに親しむ児童もいる。

一方、週に2回の外国語の授業でしか、外国語(英語)にふれない児童もあり、英語に親しむ時間に差がある。HRT や ALT のやり取りを聞き、「何を話しているのか、何となくわかる。」と感じてはいても、自分から進んで話すことに抵抗を感じる児童もいる。また、話すこと[発表]においては、単元を通じて身に付けた表現をただ暗記しただけの発表に終わるなど、他者を意識した話すこと[発表]については、まだまだ課題が見られる。

児童はこれまでの学習において、自己紹介・好きな曜日や教科・自分や友達のできること等を伝え合う表現を学習してきた。Activity に取り組む際には、HRT や ALT の説明やジェスチャーに着目し、集中して見たり聞いたりする力が少しずつ身に付いてきた。input(児童に聞かせる)を意識した授業を積み重ねることで、HRT や ALT の話す英語の意味を推測し、output(児童が発信する力)することが少しずつできるようになってきた。

4 単元の目標

あこがれの人を実際に学校に呼ぶため、自分のあこがれの人を ALT に紹介することができる。

- ・あこがれの人を紹介する伝え方・尋ね方を知り、言ったり聞いたりすることができる。 (知識及び技能)
- ・ALT や友達(のあこがれの人)のことをお互いによく知るために、他の人の特技について聞き取ったり、自分のあこがれの人の特技について、聞き手を配慮したりしながら話している。 (思考力、判断力、表現力等)
- ・ALT や友達(のあこがれの人)のことをお互いによく知るために、他の人の特技について聞き取ったり、自分のあこがれの人の特技について、聞き手を配慮したりしながら話そうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

5 単元の評価規準

(本単元における「話すこと(やり取り)」及び「読むこと」「書くこと」については、目標に向けての指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと (聞)		①美希のことをよく知るために、あこがれの人の特技などについて、その概要となる情報を聞き取っている。	①美希のことをよく知るために、あこがれの人の特技などについて、その概要となる情報を聞き取ろうとしている。
話すこと 「発表」 (発)	<知識> ① “He/She is ～.” “He/She can ～.” “He/She is good at～.” など、自分のあこがれの人（第三者）ができることや得意なことなどを表す表現について理解している。 <技能> ②自分のあこがれの人（第三者）ができることや得意なことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。	①聞き手（ALT）に配慮しながら、自分や自分のあこがれの人（第三者）のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、聞き手に（ALT）に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを話している。	①聞き手（ALT）に配慮しながら、自分や自分のあこがれの人（第三者）のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、聞き手に（ALT）に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。

6 単元の指導と評価の計画（7時間扱い）

時	◆目標 ○活動	評 価			
		知・技	思・判・表	態	◎評価規準<評価方法>
1	◆HRT や ALT のやり取りを聞き、基本的な表現に慣れ親しむことができる。 ○Small Talk 話題：最近できるようになったこと ○HRT や ALT のやり取りを聞く。（ヒーローについての学習の見通しを持つ。） ○Let's Chant（友達チャンツをする。） ○Let's Play 1（出席番号で「he/she チェーンゲーム」をする。） ○Let's Play 5（友達ができることをほかの人に紹介する。）				※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価はしない。
2	◆ブラウン先生達のヒーローについての話をおおよそ理解できる。 ○Sit down game（自分の出席番号が呼ばれたら座る。） ○Let's Chant（友達チャンツをする。） ○Let's Listen1（ブラウン先生にとってのヒーローは誰かを聞く。） ○Let's Listen2（ジムにとってのヒーローは誰かを聞く。） ○Let's Listen3（和也にとってのヒーローは誰かを聞く。） ○Let's Watch and Think1（ブラインドサッカーの動画を見る。） ○Let's Play 1（出席番号で「he/she チェーンゲーム」をする。）				※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価はしない。

	○Let's Play 5 (友達ができることをほかの人に紹介する。)				
3	◆美希のヒーローについての話をおおよそ理解できる。				
	○Sit down game (自分の出席番号が呼ばれたら座る。) ○Small Talk 話題: 先生(方)の得意なこと【既習事項の定着を目的】 ○Let's Listen4 (ハンナにとってのヒーローは誰かを聞く。) ○Let's Listen5 (美希にとってのヒーローは誰かを聞く。) ○Let's Say Read and Write? (自分にとってのあこがれの人を決め、発表するための準備をする。)		聞 ①	聞 ①	◎美希のことをよく知るために、あこがれの人の特技などについて、その概要となる情報を聞き取っている。〈行動観察・教科書〉 ◎美希のことをよく知るために、あこがれの人の特技などについて、その概要となる情報を聞き取ろうとしている。〈行動観察・教科書〉
4	◆美希のヒーローについての話をおおよそ理解できる。				
	○Sit down game (自分の出席番号が呼ばれたら座る。) ○Let's Listen5 (美希のあこがれの人と一緒に言う。) ○Let's Say Read and Write? (自分にとってのあこがれの人を決め、発表するための準備をする。)				※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価はしない。
5	◆聞き手 (ALT) に配慮しながら、自分のあこがれの人をわかりやすく紹介する仕方を考えることができる。				
	○Sit down game (自分の出席番号が呼ばれたら座る。) ○Let's Listen5 (美希のあこがれの人と一緒に言う。) ○Main Activities (あこがれの人を相手によりわかりやすく伝えるための表現を考える。)				※本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価はしない。
6	◆あこがれの人を紹介する伝え方・尋ね方を知り、言ったり聞いたりすることができる。				
	○Let's Try (自分にとってのヒーローを発表する。)	発 ① ②	発 ①	発 ①	◎自分のあこがれの人(第三者)ができることや得意なことなどを表す表現について理解している。〈行動観察・録画〉 ◎自分のあこがれの人(第三者)ができることや得意なことを表す表現などを用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。〈行動観察・録画〉 ◎聞き手 (ALT) に配慮しながら、自分や自分のあこがれの人(第三者)のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、聞き手に (ALT) に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを話している。〈行動観察・録画〉 ◎聞き手 (ALT) に配慮しながら、自分や自分のあこがれの人(第三者)のことをよく知ってもらうために、第三者ができることや得意なことなどについて、聞き手に (ALT) に配慮しながら、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。〈行動観察・録画・振り返りカード〉

7	◆大文字とそれに対応する小文字の形の特徴ごとに分類することができる。また、大文字で書き始める際のルールについて認識することができる。				
	○Let's Sing ○対応する大文字と小文字を線で結ぶ。 ○大文字で始まる単語を書く。				

7 本時の展開

目標 聞き手に配慮しながら、自分のあこがれの人をわかりやすく紹介する仕方を考えることができる。

準備 数字カード・・・**数力**、デジタル教科書・・・**デ教**、ICT端末・・・**ICT**、振り返りカード・・・**振力**

展開 (5/7)

時間	○児童の活動	・指導上の留意点 ◎評価＜方法＞	準備物
1	○Greetings ・英語で挨拶をする。	・必然性という視点により、日時や天気等は尋ねない。	
5	○Warm-up ・Sit down game をする。（自分の出席番号が呼ばれたら座る。）	・音に親しませた後に、数字を提示する。 ・既習事項（she・he や 20 以上の数字）を活用しながらやり取りし、繰り返し聞かせる。	数力
3	○Let's Listen5 ・美希のあこがれの人と一緒に言ったり、発表内容が書かれた文字を指で追ったりする。	・初めは、既習表現の内容を確認していくが、途中で「あこがれの人」の部分で、児童自身の「あこがれの人」に当てはまる名前に代えて言わせることで、自分の考えや気持ちを伝えられるようにする。	デ教
5	○前時までを振り返り、本時の課題をつかむ。 ・HRT と ALT のやり取りを見る。	・前時までの既習内容を想起させ、課題をつかませる。	
	【HRT】(Bad モデル) Hi、Anna !! This is Nishikori Kei. He is good at tennis. He is my hero. 【発表内容】 伝える内容が少なく、聞き手に配慮していない。	【ALT】 Oh、I see. But、I'm sorry. I don't know him. Who is he ?	
1	・なぜ ALT が HRT に質問したのかを考える。 ○Today's goal ・本時の課題を確認する。 アンナ先生にわかりやすく伝えるには、どんな表現を付け加えるとよいだろうか。	・HRT (Bad モデル) の発表に対する ALT の反応から、紹介している発表の中身が不十分であることに気付かせる。 ・児童が必要感をもって、課題に取り組むようにする。	
7	○Main Activity ・ALT (Good モデル) と HRT (Bad モデル) の発表の仕方を聞き比べる。	・悪い例とよい例を交互に繰り返し聞かせるが、発表の内容や中身にも注目するように声かけすることで、繰り返し聞いても飽きないようにする。	
	【HRT】(Bad モデル) Hello everyone!! This is Nishikori Kei. He is good at tennis. He is my hero.Thank you. 【発表内容】 伝える内容が少なく、聞き手に配慮していない。	【ALT】(Good モデル) Hello everyone!! This is Alina ZAGITOVA. <u>She is a figure skater.</u> She is good at skate. <u>I like Alina ZAGITOVA.</u> <u>She is cute.</u> She is my hero. Thank you. 【発表内容】 聞き手に配慮し、<u>自分の思いや考え</u>を付け加えている。	

2	- ALT と HRT の発表の違いを学級全体で共有する。 - 取り入れたい表現を考え、ICT 端末のメモアプリに日本語で入力する。	- ALT と HRT の発表の様子を聞かせ、どちらの発表の仕方がよいかを学級全体で考えさせる。 - 教室全体を歩きながら様子を見守るが、あまり時間をかけないようにする。 - 途中で一旦活動を止めて、中間評価を行う。 - わかりやすく紹介するための表現を考えている児童を指名し、全体の前で取り上げる。 - 代表児童のよい所をもとに、考えさせる。 - 未習の表現を使いたい児童に対しては、全体で取り上げ、意欲のある児童の思いを大切にする。 - Google 翻訳等を活用し、児童が付け加えたい表現を自ら進んで調べ、発音の確認ができるようにする。 1 回目よりも時間を長く確保し、アンナ先生によりわかりやすく伝えるために付け加える表現をじっくり考えさせ、児童の思いや考えを紹介する内容に加えることができるようにする。 - 活動が滞っている児童には、個別で声をかけ支援し、勇気づける。	ICT
3	～中間指導～		ICT
10	(2) 2 人 1 組で行う【2 回目】		ICT
2	○本時のまとめをする。	・本時の課題に沿ったまとめをする。	
	アンナ先生にわかりやすく伝えるには、「自分の思いや考え」を付け加えるとよい。		
5	○Reflection ・本時の振り返りをカードに記入する。	・授業で「考えたこと」「工夫したこと」「新しく学んだこと」などを振り返るようにし、次時の全体発表に向けて自信をつけるように称賛する。	振力
1	○Greetings ・英語で挨拶をする。	・心をこめて挨拶をする。	

8 板書計画

Lesson Goal: あこがれの人を実際に学校に1人呼んで、働くことについて語ってもらうため、自分のあこがれている人をアンナ先生にしょうかいしよう。

Today's Goal: アンナ先生にわかりやすく伝えるには、どんな表現を付け加えるとよいだろうか。

Heart shape: 思い, 特ちょう, 考え

Boxes: テニス選手の画像, フィギュアスケート選手の画像, 卓球選手の画像

Text: This is Hirano Miu., She is good at table tennis., She is my hero.

Right side: あこがれの人は?, その人が得意なことは?, その人はあなたにとってどんな存在?, テニス選手の画像, テニス選手